

フロントキャリパーブラケットキット 取扱説明書

(対向4ポットキャリパー用)

製品番号 06-08-0274

適応車種	ADV150 (KF38-1000001 ~)
	ADV160 (KF54-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種の純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に行って下さい。

◎当製品を取り付けるには、別途 Brembo 社製対向4POT キャリパー (20.5165.68) 又は弊社製アルミビレット4POT キャリパーが必要です。

◎Brembo 社製対向4POT キャリパー及び弊社製アルミビレット4POT キャリパーどちらでもノーマルブレーキホースのままご使用可能ですが、Brembo 社製の場合は別途バンジョーポルト (M10x1.0) が必要です。

◎ブレーキキャリパーの交換は分解整備にあたる為、整備士資格の持った方が作業を行って下さい。

◎ブレーキ液が塗装面に付着したままになると塗装が剥がれる為、付着した場合はすぐにたっぷりの水で洗い流して下さい。

◎ディスクやパッドにグリースやその他の潤滑剤が付着しない様にして下さい。ディスクに付着した場合は脱脂剤等を使用し、しっかりと油分を拭き取り、パッドに付着した場合は新品に交換して下さい。

◎新品のディスクローター、ブレーキパッド装着後はブレーキの効きが非常に悪い状態です。ディスクローターとブレーキパッドのなじみ（当たり付け）が出るまではブレーキの効きに十分注意しながら走行を行って下さい。

◎新品状態でのハードブレーキ操作は行わないで下さい。最初は軽いブレーキ操作で徐々にディスクローターとブレーキパッドになじみ（当たり）を付け、一旦ブレーキ温度を冷ませます。ディスクローターとブレーキパッドになじみ（当たり）が付くまでこの操作を行って下さい。

又、ブレーキは冷えている場合、効きが悪い状態で、ある一定の温度に上がらないと安定した制動力を発揮しません。十分注意してご使用下さい。

◎アルマイ特製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）

◎当取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。取り付けに必要となる工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業を行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特徴～

○キャリパーブラケットは高強度のアルミ材を削り出し加工にて製作しており、高強度、高精度に仕上げております。

○表面処理はアルマイ特処理を行い、耐食性を向上させております。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部品名	個数	リペア品番
1	キャリパーブラケット	1	—
2	フランジソケットキャップスクリュー 10x25	2	00-00-0342 (2ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さい様お願い致します。

※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。

使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○平坦で足場のしっかりした場所で、センタースタンドを使用し車両を安定させます。

○サービスマニュアルを参照し、ブリーダーバルブを緩め、ブレーキ液を全て抜き取ります。

▲ 注意 : ブレーキ液が車体に付着しない様にして下さい。

○純正ブレーキキャリパーからブレーキホースを取り外します。純正ブレーキキャリパーを取り外します。

▲ 注意 : ブレーキ液が車体に付着しない様にして下さい。

○①キャリパーブラケットを、取り外した純正ボルトを使用し、フロントフォークに取り付け、規定トルクで締め付けます。

※ボルトにはネジロック剤を塗布して下さい。

▲ 注意 : 必ず規定トルクを守る事。
純正ボルト (M8 ボルト)
トルク : 30N・m (3.0kgf・m)



○ 4POT キャリパーを②フランジソケットキャップスクリュー 10x25 を使用し、①キャリパーブラケットに取り付け、規定トルクにて締め付けます。

▲ 注意 : 必ず規定トルクを守る事。
フランジソケットキャップスクリュー 10x25
トルク : 35N・m (3.5kgf・m)



○ブレーキのエア抜き要領の指示に従い、エア抜きを行います。

○エア抜き完了後は、ブレーキ液が付着していないか確認して下さい。

○ブレーキホースに無理が掛からない様に取り回しを行い、新品のシーリングワッシャ用いて、ブレンボ社製 4POT キャリパーの場合は、バンジョーボルト M10xP1.0 でブレーキホースを取り付けます。

▲ 注意 : 必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク : 15N・m (1.5kgf・m)



◎この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データでアップしております。

印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。



ブレーキのエア抜き要領

▲ 注意

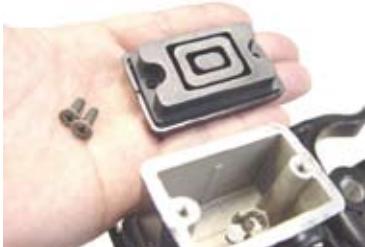
- ブレーキフルード補充時にゴミや水を混入させない事。
- 銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。
- ブレーキフルードは付属のものを使用する事。DOT4(BF-4)
- 抜き取ったブレーキフルードは再使用しない事。
- ブレーキフルードは塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
(付着した場合は、速やかにブレーキフルードを洗い流す事。)
- ブレーキホースの取り外しの際など油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
- シーリングワッシャは再使用しない事。
- 規定トルクは必ず守る事。

- ・ キャリパーブラケットにキャリパーを取り付けます。
トルクはキャリパーブラケットの取り扱い説明書を参照して下さい。
- ・ キャリパーにバンジョーバルト、ブレーキホース等を取り付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーバルト
トルク : 14.5N·m (1.48kgf·m)

- ・ フロントブレーキマスタークリンダーアッシーの2本のスクリューを取り外し、マスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを取り外す。



- ・ ブレーキキャリパーASSYのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースを接続し、ホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にする。



- ・ フロントブレーキマスタークリンダーアッシーのカップ内にブレーキフルードを上限線まで補充する。

▲ 注意：ゴミや水を混入させない事。

▲ 注意：銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。

- ・ ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの作業を繰り返す。

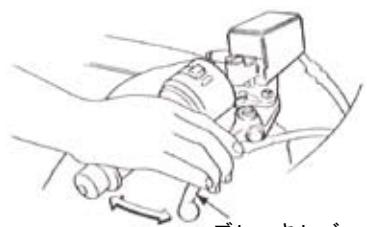
※オイルカップのブレーキフルード量に注意し新しいブレーキフルードを補充しながら作業を行う。



▲ 警告

- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。
万一、付着した場合はパッドを交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- 損傷部品が見つかればその部品は必ず新品と交換する事。

- ・ ブレーキレバーを握ったままブレーキキャリパーASSYのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付ける(①)。



- ※ブリーダーバルブを緩めた状態でブレーキレバーを戻さない事。
- ・ ブレーキレバーをゆっくりと戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する(②)。



- ・ ①、②の操作をブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで繰り返す。
※カップ内のブレーキフルードの量を確認しながら作業を行い、下限線付近まで減少していれば補充する。

- ・ ブリーダーバルブから出てくるブレーキフルードにエアの混入が無くなればブリーダーバルブを規定トルクで締め付ける。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダーバルブ
トルク : 5.9N·m (0.6kgf·m)



- ・ オイルカップの上限線までブレーキフルードを補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをスクリュー2本を用いて取り付ける。

▲ 注意：ゴミや水を混入させない事。

